

三鷹市 介護人材の確保・定着等に関するアンケート調査

- 事業所調査票 -

令和元年11月 三鷹市

《ご記入にあたってのお願い》

1. 管理者様など事業所の状況をよくご存じの方が、ご記入下さい。
2. 同一敷地内で複数の介護保険サービス事業を行っている場合は、それら全てを合わせて1つの事業所として回答して下さい。
3. ご回答は、鉛筆又は黒や青のボールペンで、この調査票に直接ご記入下さい。
4. 各設問の説明に従って、あてはまる番号に○印をつけるか、具体的な内容・数字などをご記入下さい。回答に迷う場合は、できるだけ近いものを選ぶようにして下さい。

◆◆◆ 三鷹市へのご意見・ご要望等について伺います。 ◆◆◆

問1 三鷹市が実施している介護人材確保・定着・育成のための事業について伺います。

1. 介護職員初任者研修費補助事業

【概要】三鷹市介護保険事業者連絡協議会に加入する市内事業所に新たに就労した正規職員又はみたらふれあい・支援員に、1人当たり70,000円を上限に介護職員初任者研修課程の受講料を補助します。

(1) 介護職員初任者研修費補助事業をご存じでしたか。(○は1つ)

1 知っていた 2 知らなかった

(2) 介護職員初任者研修費補助事業は、貴事業所の介護人材の確保・定着・育成に役立つと思いますか。(○は1つ)

1 非常に役立つ 2 多少役立つ 3 あまり役立たない 4 まったく役立たない

(3) 「3 あまり役立たない」「4 まったく役立たない」とお考えになった理由は何ですか。

2. ユニットリーダー研修費補助事業

【概要】三鷹市介護保険事業者連絡協議会に加入する市内事業所に新たに就労した正規の職員に、1人当たり100,000円を上限にユニットリーダー研修費の受講料を補助します。

(1) ユニットリーダー研修費補助事業をご存じでしたか。(○は1つ)

1 知っていた 2 知らなかった

(2) ユニットリーダー研修費補助事業は、貴事業所の介護人材の確保・定着・育成に役立つと思いますか。(○は1つ)

1 非常に役立つ 2 多少役立つ 3 あまり役立たない 4 まったく役立たない

(3) 「3 あまり役立たない」「4 まったく役立たない」とお考えになった理由は何ですか。

3. 職員表彰事業

【概要】三鷹市介護保険事業者連絡協議会に加入する市内事業所に、通算して5年、10年、20年勤務した介護職員で、事業所より推薦をされた方を表彰します。

(1) 職員表彰事業をご存じでしたか。(○は1つ)

1 知っていた 2 知らなかった

(2) 職員表彰事業は、貴事業所の介護人材の確保・定着・育成に役立つと思いますか。(○は1つ)

1 非常に役立つ 2 多少役立つ 3 あまり役立たない 4 まったく役立たない

(3) 「3 あまり役立たない」「4 まったく役立たない」とお考えになった理由は何ですか。

4. 家賃補助事業

【概要】市内に所在する特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設に、新たに勤務した正規の介護職員等に、月額20,000円を上限に家賃を補助します。

(1) 家賃補助事業をご存じでしたか。(○は1つ)

1 知っていた 2 知らなかった

(2) 家賃補助事業は、貴事業所の介護人材の確保・定着に役立つと思いますか。現在、対象施設となっていない場合でも、対象となった場合に役立つか否かをお答え下さい。金額の上限は月額2万円としてお答え下さい。(○は1つ)

1 非常に役立つ 2 多少役立つ 3 あまり役立たない 4 まったく役立たない

(3) 「3 あまり役立たない」「4 まったく役立たない」とお考えになった理由は何ですか。

5. 職場体験事業

【概要】市内の高校・大学、ハローワーク三鷹等から参加者を募り、市内の介護事業所で職場体験を行います。

(1) 職場体験事業をご存じでしたか。(○は1つ)

1 知っていた 2 知らなかった

(2) 職場体験事業は、貴事業所の介護人材の確保・定着に役立つと思いますか。(○は1つ)

1 非常に役立つ 2 多少役立つ 3 あまり役立たない 4 まったく役立たない

(3) 「3 あまり役立たない」「4 まったく役立たない」とお考えになった理由は何ですか。

6. 保育園優先入所

【概要】 保育園の入所選考の際、市内事業所の介護職員は、同一選考点数世帯間の優先順位の第5段階として選考します。

(1) 保育園優先入所をご存じでしたか。(○は1つ)

1 知っていた	2 知らなかった
---------	----------

(2) 保育園優先入所は、貴事業所の介護人財の確保・定着に役立つと思いますか。(○は1つ)

1 非常に役立つ	2 多少役立つ	3 あまり役立たない	4 まったく役立たない
----------	---------	------------	-------------

(3) 「3 あまり役立たない」「4 まったく役立たない」とお考えになった理由は何ですか。

--

問2 介護人財の確保・定着・育成のために、三鷹市に取り組んで欲しいことは何ですか。
(あてはまる番号全てに○)

1 三鷹市の介護事業所のPR、三鷹市が実施する介護職支援の事業のPR
2 若年者(小学生～大学生等)への介護に関する仕事の啓発・PR
3 介護を知るための体験型イベント等の開催
4 養成機関の在校生に対する奨学金の支給(市内事業所で一定期間就労後は返還免除)
5 無料職業紹介、マッチング支援、就職相談会等の開催
6 潜在(現在働いていない)有資格者の人財登録、マッチング支援
7 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施、マッチング支援
8 外国人介護人財の受け入れ環境整備の支援
9 職員の悩み相談、心身の健康相談の支援
10 職員の育児と仕事の両立支援(保育園への優先入園等)
11 職員の家賃補助の対象を拡大
12 福利厚生への助成
13 ボランティアの活用に関する相談・助言、ボランティアの育成・派遣
14 介護ロボット・ITの介護施設・事業所への導入支援
15 資格取得時の費用負担の充実(介護職員初任者研修やユニットリーダー研修以外にも拡大)
16 知識やスキル向上のための研修や講習会の開催
17 事業者が独自に行う研修への補助
18 優良事業所の表彰・公表
19 採用、定着、育成に役立つ情報提供・相談・助言
20 その他(以下に具体的に記入下さい。)

◆◆◆ 貴事業所の現状や課題について伺います。 ◆◆◆

問3 貴事業所の主な介護保険サービス事業は、どれですか。同一敷地内で複数の介護保険サービス事業を行っている場合は、最も事業収入の多いものを選んで下さい。(○は1つ)

1 訪問介護	5 地域密着型通所介護	9 介護医療院 (介護療養型医療施設)
2 訪問看護	6 居宅介護支援	
3 通所介護	7 介護老人福祉施設	10 その他
4 特定施設入居者生活介護	8 介護老人保健施設	()

問4 貴事業所で、介護保険の指定介護サービス事業に従事する職員は何人ですか。

下記の表の空欄に、該当する職種の人数を記入して下さい。(令和元年9月30日現在)

※ 常勤労働者換算ではなく、在籍者数です。派遣労働者や委託業務従事者は含みません。

※ 該当者がいない欄は、0(ゼロ)を記入して下さい。

(注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して記入して下さい。

兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ記入して下さい。

(注2) この調査では、正規職員とは、労働時間数にかかわらず雇用期間の定めがない者となります。

非正規職員とは、期限の定めのある有期雇用契約による職員とします。

(注3) ここでいう介護職員とは、介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者となります。賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアは含みません。)

(注4) PT・OT・ST等=PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別 (下記の職種のみ) (注1)	正規職員(注2)			非正規職員(注2)			合計
	59歳以下	60歳以上	59歳以下	60歳以上	59歳以下	60歳以上	
1 訪問介護員		人	人	人	人	人	人
2 サービス提供責任者		人	人	人	人	人	人
3 介護職員(注3)		人	人	人	人	人	人
4 看護職員		人	人	人	人	人	人
5 生活相談員		人	人	人	人	人	人
6 PT・OT・ST等(注4)		人	人	人	人	人	人
7 介護支援専門員		人	人	人	人	人	人
合計(1～7)		人	人	人	人	人	人

問5 貴事業所が属する法人全体(全ての指定介護サービス事業所)の全従業員数は、おおよそ何人くらいですか。(派遣労働者、委託従事者は含みません。)(○は1つ)

1 19人以下	4 100～299人
2 20～49人	5 300～499人
3 50～99人	6 500人以上

問8 貴事業所では、過去 3 年間の職員の採用において、どのような手段・媒体を利用しましたか。
(あてはまる番号全てに○)

1	ハローワーク	7	民間機関による職業紹介
2	福祉人材センター(社会福祉協議会)	8	職員、知人からの紹介
3	学校、養成機関からの紹介	9	ポランティア、実習生を勧誘
4	求人・就職情報誌、求人情報サイト	10	ホームヘルパー等養成講座修了者を勧誘
5	折込チラシ、新聞 雑誌の広告	11	自社のホームページ
6	就職セミナー (就職説明会)	12	その他 ()

問9 職員の採用に最も効果のあった手段・媒体は、どれですか。問 8の中から1つ選び、番号を記入して下さい。

最も効果のあった手段・媒体

問10 貴事業所では、過去 1 年間 (平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日) に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。(○は1つ)

1	人数・質ともに確保できている
2	人数は確保できているが、質には満足していない
3	質には満足だが、人数は確保できていない
4	人数・質ともに確保できていない

問11 貴事業所では、早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。
(あてはまる番号全てに○)

1	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3	賃金水準を向上させている
4	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している
5	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
6	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
7	能力開発を充実させている (社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)
8	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている (メンタルヘルス対策を含む)
9	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている (意見交換会、チームケア等)
10	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
11	その他 ()
12	特に方策はとっていない

問6は、訪問介護員と介護職員について伺います。
これらの職種を雇用していない事業所は、問 7へお進み下さい。

問6 ④貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する「訪問介護員」と「介護職員」について、過去 1 年間 (平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日) の採用者数と離職者数をそれぞれ記入して下さい。

②離職者については、勤続年数別の人数もご記入下さい。

※ 離職者とは、調査対象期間中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含みますが、同一企業内での転出入者は除きます。

※ 該当者がいない欄は、0(ゼロ)を記入して下さい。

④1 年間 (平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日)			②離職者の勤続年数別の人数		
の採用者数と離職者数			1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上
訪問介護員 (サービス提供 責任者は 含まず。)	訪問介護員・計	採用者数	離職者数	人	人
	正規職員	人	人	人	人
	非正規職員	人	人	人	人
介護職員 (看護職員等 は含まず。)	介護職員・計	人	人	人	人
	正規職員	人	人	人	人
	非正規職員	人	人	人	人

ここからは全員お答え下さい。

問7 貴事業所では、従業員の職種別過不足の状況はどうですか。(それぞれの職種で○は1つずつ)

	大いに 不足	不足	やや 不足	適当	過剰	当該職種 はいない
1 訪問介護員	1	2	3	4	5	6
2 サービス提供責任者	1	2	3	4	5	6
3 介護職員	1	2	3	4	5	6
4 看護職員	1	2	3	4	5	6
5 生活相談員	1	2	3	4	5	6
6 PT・OT・ST 等	1	2	3	4	5	6
7 介護支援専門員	1	2	3	4	5	6
全体でみた場合 (上記 1～7 について)	1	2	3	4	5	6

問12 早期離職防止や定着促進に最も効果のあった方策はどれですか。前ページの問 11 の中から 1 つ選び、番号を記入して下さい。

※ 問 11 で「12 特に方策はとっていない」に○をつけた方は、問 13 へお進み下さい。

最も効果のあった方策	
------------	--

問13 貴事業所の現在の従業員の定着状況について、どのように考えていますか。（○は1つ）

1 定着率が低く困っている	2 定着率は低い 困っていない	3 定着率は低くない
---------------	--------------------	------------

問14 貴事業所では、人材育成のための取組に当たって、どのような方策をとっていますか。
(あてはまる番号全てに○)

1 教育・研修計画を立てている
2 教育・研修の責任者（兼任を含む）又は担当部署を決めている
3 採用時の教育・研修を充実させている
4 職員に後輩の育成経験を持たせている
5 能力の向上が認められた者は、配置や処遇に反映している
6 法人全体（関係会社を含む）で連携して育成に取り組んでいる
7 自治体や業界団体が主催する教育・研修に積極的に参加させている
8 地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成に取り組んでいる
9 資格の取得などのために手当（補助）を出している
10 その他（ ）
11 特に何もしていない

問15 貴事業所で、サービスの質の向上のために力を入れている取組は何ですか。
(あてはまる番号全てに○)

1 ケアカンファレンスの定期的な開催
2 職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施
3 事業者間での情報交換・交流への参加
4 利用者からの相談窓口の設置
5 サービス利用者の満足度調査の実施
6 サービス提供マニュアルの作成
7 介護相談員の受け入れ
8 情報開示、第三者評価
9 サービス自己評価基準による定期的な検証
10 その他（ ）
11 特に何もしていない

問16 貴事業所では、介護保険の指定介護サービス事業を運営する上での問題点はどれですか。
(あてはまる番号 3 つのみに○)

1 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をたくてもできない
3 良質な人材の確保が難しい
4 新規利用者の確保が難しい
5 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6 教育・研修の時間が十分に取れない
7 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
8 その他（ ）
9 特に問題はない

問17 貴事業所では、外国人介護人材の活用について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

1 既に活用している	2 活用を検討している	3 活用の予定はない	4 分からない
------------	-------------	------------	---------

問18 外国人労働者の活用の有無にかかわらず、全ての方にお伺いします。
外国人労働者の活用について、どのような課題がありますか。（あてはまる番号全てに○）

1 日本人職員との会話等における意志疎通に支障がある
2 利用者等との会話等における意志疎通に支障がある
3 日本語文書力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある
4 生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある
5 人件費以外にさまざまなコストがかかる
6 受入方法や活用方法がわからない
7 その他（ ）
8 特に課題はない

ご多用のところ、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

その他、ご意見等ございましたら、ご記入下さい。

お手数おかけして申し訳ありませんが、回答漏れがないかご確認いただき、別添の返信用封筒（切手不要です。）に入れて **令和元年 11 月 22 日（金）までに** 投函して下さいますよう、お願い申し上げます。